

## 復興支援フォーラムニュース No. 118

(URL <http://www5a.biglobe.ne.jp/~tkonno/FK-forum.html>)

<事務連絡先> 今野順夫 ([tkonno67@gmail.com](mailto:tkonno67@gmail.com))

### 「山形県内の避難者支援の取り組み」

多田 曜子

(復興ボランティア支援センターやまがた・事務局)

#### ■山形県の立地と311

- ・被災3県に隣接・日帰りができる距離
- ・ボランティア、避難者多

#### ■復興ボランティア支援センターやまがた

- ・情報支援・中間支援を行うNPO・県の構成団体

##### <業務>

- ・災害ボランティアへのサポート
- ・情報の集約・発信
- ・支援団体の調査、連携促進
- ・支援者会議開催
- ・避難者向けフリーペーパー／ポータルサイト運営

#### ■山形の避難者

- ・避難者数：2012年1月時点 13,797人      2017年9月時点 2,255人

##### <傾向>

- ・変動が大きい・「とりあえず避難」が多い
- ・自主避難者・母子避難者・二重生活者が多い

##### <地域別傾向>

- ・庄内地域、最上地域、村山地域、置賜地域の違い
- ・避難元と「心理的揺らぎ」

#### ■自主避難者

- ・宙づりの辛さ
- ・自己承認の弱さ
- ・将来像のない不安
- ・住み続ける事への心配
- ・帰還への心配

## ■避難指示区域からの避難者

- ・解除への不安と期待
- ・自立・自律の差の広がり

## ■避難者アンケート（29年度）

- ・今の生活で困っている事 生活資金のこと68%
- ・今後の予定 もうしばらく山形県で生活したい41.5% 山形県に定住したい35.2%

## ■自立と自律

### ■社会福祉協議会の支援

- ・生活支援相談員の配置
- ・復興支援員の配置

### ■市町村の支援

- ・避難者支援センターの運営
- ・個別郵送、市民サービス、低所得者・移住者へのサービスの適用

### ■県の支援

- ・避難者への支援（県職員公舎、メルマガ等）
- ・支援者への支援（ネットワーク）

### ■NPO・ボランティア団体の支援

- ・特色を生かした支援

### ■支援の中で感じる課題

- ・受援力がない人への支援、依存的な人への支援
- ・高齢者・障害者・シングル家庭などへの支援
- ・当事者団体への支援

### ■支援者のケア

- ・これまでの事例
- ・続けるために守りたいこと

### ■これからへ向けて

- ・誰を・どこまで避難者枠で支援していくのか
- ・支援が終われば、支援者・ノウハウがなくなる？
- ・“避難者”はいつまでも弱者？



## <第115回ふくしま復興支援フォーラムでのご意見等>

2017年9月1日、福島市AOZ（視聴覚室）で、第115回ふくしま復興支援フォーラムを開催しました。福島県立ふたば学園高校の丹野純一校長先生から、「福島から『変革者』を育てる ～ふたば未来学園の挑戦」をテーマに報告いただきました。20名の市民の参加でした。活発な質疑応答がありましたが、文書で提出されたご意見等は、以下の通りです。

参考にしてください。



★ 学校設立・入学のきっかけはともかく、本学園で学べる子どもたちが（ある意味）特に先進性で恵まれていることは事実なので、先生も子どもたちも大変だと思いますが、その成果をしっかりと世に示して頂くことを期待しています。（S.S）

★ 「もし、高校生にもどれたら、ふたば未来学園に入りたい。」と思いました。今日は、とても楽しみにして来ました。期待どおりのお話でした。ありがとうございます。これから遠くからですが、見守っていきたいと思います。（A.M）

★ ラジオ（月曜Monday）を聞いて以来、是非、生で話をお聞きしたいと思っていました。熱い心を持っているのをひしひしと伝わってきました。これから10年、20年と続いて実践して欲しいと思います。多くの変革者を育てて下さい。（Y.I）

★ (1)#115フォーラム開催有難うございます。(2)教育方針の設定→実行し、変革者(改革者)を育てられている→私職の知っている「教育」の内容とかなり違う事に感銘致しました。(3)私の在住地域でも「助け合いのふるさと創り」に取り組んでいますが、大変参考になりました。(4)阪神淡路の反省から、1億2700万人のボランティア/助け合い社会創りが基本と考えています。(その中核として期待しております。)(T.S)

★ 大きな感銘を受けました。学校設立の大変さの中で、教育目標を確立してきた努力に敬服しました。多様な利害や価値観の対立を乗り越え、共存を図る力＝「シティズンシップ」を育成し、能動的な市民（アクティブシティズン）を育てようとされていることに感激です。ふたば未来学園の教育実践が、双葉郡の復興（住民の生活の復興）にとどまらず、福島県及び福島県の教育の復興・発展に大きく寄与すると期待しています。（T.K）

◆◆◆◆【会場個人カンパありがとうございました】◆◆◆◆

第115回ふくしま復興支援フォーラム(9月1日)の会場で、カンパ2,800円をお寄せいただき、ありがとうございました。ご報告とともに、御礼申し上げます。(今野)

▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽

【会計報告】(2017.10.3現在)

「収入」

2017.8.3まで累計	62,656円(第2期(2016.10.27～)繰越 7,106円)
会場カンパ(2017.8.3)	2,800円
計	65,456円

「支出」

2017.8.3(会場費115まで)累計	40,520円
会場費(117,118)	4,500円
会場費(119,120,121)	7,200円
郵送費(2017.9.10)	360円
計	52,580円

「残金(現在高)」2017.10.3 12,876円

▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽▽

【予告】第117回 ふくしま復興支援フォーラム

日時 2017年11月7日(火) 18時30分～20時30分

テーマ 「福島大環境放射能研究所の研究活動と復興支援」

報告者 難波 謙二 氏(福島大学環境放射能研究所所長、福島大学教授)

会場 福島市アクティブシニアセンター「AOZ(アオウゼ)」

大活動室1 MAXふくしま4F(福島市曾根田町1-18)

\*入場無料、予約不要

<今後のフォーラム開催日予定>

11月30日(木)	松井克浩氏	(AOZ小活動室1・2)
12月21日(木)	二階堂晃子氏	(AOZ大活動室1)
1月18日(木)	荒井 聡氏	(AOZ大活動室1)
2月8日(木)	仲井康道氏	(AOZ大活動室1)

【関連行事】

2017年11月2日～4日(コラッセふくしま)

「市民・地域共同発電所 全国フォーラム2017 in 福島」

11/2 13:30～ 全体会(基調報告、全国調査報告、ポスターセッション)、懇親会  
福島市民は、全体会に限り無料

11/3 9:30～ 分科会9:30～12:00(①「地域新電力のつくり方」、②「里山資源を活  
かす小規模木質発電・熱利用の推進」)

13:00～15:30(③「農村における再生可能エネルギーの可能性」)

④「広がる生協による再生可能エネルギー普及の取り組み」)

11/4 エクスカーション

(全日程参加3000円、懇親会費5000円、視察参加費3000円)

申し込み: <http://www.kiconet.org/event/2017-11-02/>